

その他の建築工事業における木材、竹材を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	9~10	住宅建築現場にて、1階天井の下地作成中、脚立から下りようとして、床にあった6cm×6cm×30cmの木材の上に右足がのり、足首をひねり、骨折したものである。	66	—
2	10~11	資材置場にて2tダンプに積んであった廃材の荷締めをやり直すため、荷台の上に乗ってロープを締めるために廃材の上を歩いている時に右足を滑らせてしまい、廃材に足が当たり、ふくらはぎの内側を約20針縫う切傷を負った。	28	1~9
2	11~12	自社倉庫にて、型枠を製作中、倉庫にある型枠を使う為バールで解体中、板がめくれると同時に異物のはじかれて目に刺さり左目を負傷した。	43	1~9
4	14~15	土場内作業（ゴミ仕分）において車両から畳をおろす際に既存の畳おろしの場所の上に置くシートを固定する物150角の角柱木材（長さ1m位）を足下に落下させる。	56	10~29
6	10~11	解体木材をダンプ車から降ろす時、後部補助板を外し、移動しようとした時、木材が滑り落ちて胸部を打撲した。	61	1~9
7	16~17	解体工事で排出された木くずをダンプカーで自社焼却施設に運搬搬入し、後ろの扉を開けた際、木片（縦10cm×横10cm×長さ50cm）が左手首に落下し受傷した。	64	1~9
7	10~11	当社置き場において、まくら木の片付け作業中、積み重なっていたまくら木が崩れ、左肩に激突し負傷した。	19	30~49

7	9~ 10	木造住宅内部解体工事現場にて、廃材を室内から屋外に搬出時にバランスを崩し、自分が持っていた廃材を落とした際に、左腕を負傷した。	23	1 ~ 9
9	9~ 10	新築工事の現場において、家の材料となる30cm四方で長さ4mの角材を大工見習いのAさんと横に移動させていた時に、自分は手を離したが、Aさんが離さず角材のバランスがくずれて、左の甲に落ちた為に負傷した。	35	30 ~ 49
9	14~ 15	自社の資材置場で、段取り中に、足元に置いてあった資材につまずき転倒した時に左手をついて、その左手を骨折した。	21	1 ~ 9
9	9~ 10	中学校便所改修工事の現場である1階の工事エリアにおいて停電が発生したためブレーカーを復旧しようとしたところ、分電盤の扉にフレキシブルボードが40枚ほど立て掛けてあったため開閉できない状況だったので、ボードを仮設間仕切りに立て掛け人力で支えながら扉を開けようとしたところ支えきれず、当該作業員の右足に倒れ地面との間に挟み負傷したものである。	36	1 ~ 9
10	16~ 17	解体工事現場にて解体作業中解体材を片付けるため、被災者は重機の左後方より前方へ移動していた。重機の左前方（約3m）にさしかかった際、重機のハサミで掴んだ木材が折れ、木片（4cm×4cm×1m）が被災者の右手及び腹に当たり被災、右手小指付根を骨折した。	34	1 ~ 9
10	11~ 12	会社資材置き場にて、資材確認をしているとき、資材から出ていた角材（出200mm）に作業服（ズボン）が引っかかり、体勢を崩したため、隣の資材へ飛び移った。飛び移った際に、左足にて角材を強く踏み込んだため、足裏を裂傷する結果となった。当時は足袋をはいていたが、足袋、くつ下共に破れる程だった。	27	1 ~ 9
11	10~ 11	自社の植木畑で草刈りと枝切り作業後の片付け中、集めた草や木の枝に乗って、足が滑り転倒した。	45	1 ~ 9
12	13~14	1階で壁面の部材を移動しようとした際に、上部に仮置きしていた2階部分で使用する梁が下にすべり落ち、作業員の左手に当たり受傷した。	27	10 ~ 29

12	7~8	当社本社敷地内、資材置場にて、年末の片付け作業を開始する為、作業段取り中、パネル（0.6×1.2、H1.2m）3山平積みの上に載っている不用金物袋（≒15kg程度）10袋を金物の箱に入れる為、パネルの上に乗って金物袋を手で箱に入れている時にバランスを崩した為、身の危険を感じ飛び降り、地面に着地した際、右足甲中指と薬指の根元を負傷した。	49	30 ~ 49
12	9~10	工場でパネルを担いで運ぶ際に、パネルを下ろそうとしたとき、パネルとパネルの間に指を挟んだ。	45	1 ~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html